

常任委員会 こんなことを聞きました

経済建設委員会

町指定ごみ袋

Q 新指定ごみ袋の取り扱い店の数は。

A 現時点では51店舗。そのうち町外は3店舗。

Q 旧指定ごみ袋の引き取り額、期間は。

A 先行市を参考に、大が1枚あたり8円、中が6円、小が5円。期間は、5月の連休明けの翌週から11月末までを予定。

景観計画変更 業務委託料

Q 内容は。

A 明徳寺川周辺地区に

対する30年度届出対象行為(案)、デザインルール(案)および景観形成重点区域(案)を踏まえ、地権者等に説明会を行い、出された意見等に対して検討し、最終的に景観計画やガイドラインの作成を行う。

Q 明徳寺川周辺を景観形成重点区域として指定するにあたり、誰がどのようにに決定するのか。

A 東浦町景観審議会および東浦町都市計画審議会への諮問、答申を経て、最終的に町長が決定する。

文教厚生委員会

病児・病後児 保育事業

Q 病児・病後児保育事

業委託料の内容は。

A 緊急時の児童の受け入れや日常の医療面での指導、助言を行う医師との病児・病後児保育指導医と協力医療機関業務に係る委託料。

Q 総合子育て支援センターで行う病児・病後児保育の職員の配置は。

A 保健師および保育士を1名ずつ増員予定である。

家庭保育応援給付事業

Q 家庭保育応援給付事業の基本的な考え方は。

A 本町が、子育て応援日本一を目指していく上で、家庭で保育している家庭に行政が目を向け応援することで、家庭での子育てを社会全体が支援し、住民一人ひとりに寄り添った保育が必要であると考えている。

介護予防事業

Q 「いきいき100歳体操」周知啓発事業の事業内容は。

A 「いきいき100歳体操」のDVDの作成、地区等への周知用の事業紹介映像の作成、ケーブルテレビ、ラジオおよび情報誌等で広く周知、啓発を図っていく。

一般会計補正予算

Q 広報事業で広報紙の発行回数を減らした理由は。

A 例年掲載ページが、比較的少ない7月15日号と2月15日号を当該1日号に集約するように見直しを行った。

Q 多文化共生事業の三者間通訳機器の内容は。

A 通訳者をつながらタブレット端末を利用し、利用言語を選択し、外国人住民、職員、通訳者の三者で会話を行う。

国民健康保険税条例の一部改正

Q 31年度以後に減免措置の対象外となる例は。

A 29年4月1日より前に資格を取得した人は、31年度以後、減免の対象外となる。

Q 交通防犯対策費のバス運行委託料の増額理由は。

A 小型車両2台追加に係る人件費、車両減価償却費の増額等とともに、昨今多発しているバスによる事故を防止するための労働環境改善に伴う諸経費が主な理由。

決まりました！ 主な議案

平成31年第1回東浦町議会定例会 議員別審議結果一覧表

平成31年3月22日採決（同意第1号及び報告第1号については、平成31年2月28日採決）

議案 番号等	議員名 議案名	至誠会				清流会			公明党 東浦		日本共産党 東浦町会 議員団		幸福実現党 クラフ	高志会	無所属	無所属	議決結果	
		山下 享司	向山 恭憲	水野 久子	長屋 知里	小松 原英治	三浦 雄二	前田 明弘	西尾 弘道	米村 佳代子	秋葉 富士子	平林 良一	杉下 久仁子	原田 悦子	田崎 守人	小田 清貢		成瀬 多可子
同意 1	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
報告 1	損害賠償の額の決定及び和解について																	
議案 7	東浦町職員の退職手当に関する条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 8	東浦町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 9	東浦町国民健康保険税条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 10	東浦町手数料条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 11	東浦町遺児手当支給条例の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 12	東浦町行政財産の特別使用に係る使用料条例等の一部改正について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 13	30年度東浦町一般会計補正予算（第 7 号）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 14	30年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 15	30年度東浦町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 16	30年度東浦町下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 17	31年度東浦町一般会計予算 （家庭保育応援給付費に対する修正案）	議	○	○	○	○	○	●	●	○	○	－	－	○	○	○	●	可決 (賛成多数)
議案 17	31年度東浦町一般会計予算 （景観計画変更業務委託料に対する修正案）	議	○	○	○	○	●	●	●	●	●	－	－	○	○	○	●	可決 (賛成多数)
議案 17	31年度東浦町一般会計予算（東浦駅周辺整備事業化 検討調査業務委託料に対する修正案）	議	○	○	○	○	●	●	●	●	●	－	－	○	●	●	●	否決 (賛成少数)
議案 17	31年度東浦町一般会計予算 （修正案を除く原案）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可決 (賛成多数)
議案 18	31年度東浦町国民健康保険事業特別会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 19	31年度東浦町土地取得特別会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 20	31年度東浦町後期高齢者医療特別会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 21	31年度東浦町下水道事業会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 22	31年度東浦町下水道事業会計予算	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	原案可決 (賛成多数)
議案 23	工事委託協定の変更について（東浦町公共下水道 森岡ポンプ場のポンプ増設工事委託）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 24	町道路線の認定について	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)
議案 25	30年度東浦町一般会計補正予算（第 8 号）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (全員賛成)

【表の凡例】 議は議長（採決に加わらない）、○は賛成議員、●は反対議員、—は棄権議員

31年度 一般会計予算

論 討 否 賛

(要約してあります)

賛成

過去最大規模予算を維持
「福祉政策重視の東浦町に」

至誠会 向山恭憲 議員

31年度一般会計予算は、総額149億1千万円、前年度比0・1%減で、過去最大規模予算を維持されており、人口が伸び悩む現況下にあつて積極志向の予算編成と評価する。

歳入では、町税が82億9100万円余で全体の55・6%を占め、前年度比1・6%の増収見込み。自主財源確保が堅持されており、評価する。

歳出では、民生費が58億5600万円余で全体構成比39・3%、前年度比3・5%の伸びで「福祉政策重視の東浦町」らしさの予算であり、評価する。

一方、町の活性化になくはならない産業振興に関しては、農林水産業費は2億2300万円余で前年度比8・1%増はいいが、全体構成比0・7%の商工費は1億500万円余、前年度比8・2%減はあまりにも低水準であり、懸念する。

個々の歳出予算を見ると各施策分野において新規事業も多く採用されており評価したい。しかし31年度スタートの第6次総合計画の5つの施策大綱に準拠してはいるものの、下位計画の第1期基本計画および第1次実施計画との整合性の明確化と町民への説明を要望し、31年度一般会計予算の賛成討論とする。

賛成

住民理解を深めて
「総合計画」の推進を

公明党東浦 秋葉富士子 議員

31年度の一般会計予算編成については、「つくるつながるささえあう 幸せと絆を実感できるまち 東浦」を目指す第6次東浦町総合計画の5つの施策が盛り込まれている。

具体的には、いのちをつなぐ取り組みとして「骨髄移植ドナー支援事業」を拡充し、ドナーが勤務する事業所への補助金交付、地域公共交通の活性化を図り、住民の利便性を向上させるために小型車両や循環運行等の導入をする「行政バス（う・ら・ら）運行事業」、頻発する災害に備える「防災行政無線および防災情報システム更新事業」、住民の生活利便性の向上や安全で安心な道路を作る「道路改良事業」、清潔で住みよいまちづくりと川や海の水質保全が目的の「管きよ建設改良事業」等々が挙げられる。

これらの中には公明党が要望、推進したものもあり、評価する。

今後第6次総合計画をスタートさせ、第1次実施計画を推進していくにあたり、常に住民に理解を深めてもらえる地道で丁寧な説明と、住民の実態を的確に判断し、住民が住み続けたいと思える施策の展開をお願いして、賛成討論とする。

反対

多くの町民の声が
届いているか

日本共産党東浦会議員団 杉下久仁子 議員

新年度予算の中で特に懸念していることは消費税10%への増税の影響である。

国による不正や隠ぺい、景気の動向に不安を感じing中で、より多くの町民の声が届いているのか、町民にとって本町がくらし・福祉を守る機関となっているかが、新年度予算で問われている。

行政運行バス（う・ら・ら）の小型バスの導入や運転手の確保などで大きく予算増を行い、ダイヤ改正により利用者の利便性が向上すること、消費税増税後も給食費への影響がないことなどは評価できる。賛同できない点として、使用料、手数料など380万円となる消費税増税分の上乗せは、各家庭が節約を迫られている中ではやめるべきである。

家庭系可燃ごみ処理手数料の住民負担が始まる。歳入で1億635万円見込んでおり、これまでのごみ袋代の3倍から4・5倍にもなる。

そもそも税金で賄う行政サービスの費用負担を住民に押し付けることに、賛同できない。

以上の点をふまえ、より多くの町民の声が届いているのか、町民にとって本町がくらし・福祉を守る機関となっているかどうか弱い予算となっているため、反対討論とする。